

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2023-24 年度 大宮西ロータリークラブ 週報



世界に希望を生み出そう



創立:1963年 3月 22日

会長 藤嶋 剛史

例会場:パレスホテル大宮

幹事 横溝 一樹 第2788例会 2023/08/21

例会日:月曜日12:30~13:30

クラブ会報委員会 竹ノ谷純宏

発行日 2023/08/28

会長挨拶

「把手共

~分かち合おう、共にロー



会長 藤嶋 剛史

本日はさいたま YEG より水野 雅子様、ようこそお越しいただきました。YEG の関係で来たらいつの間にかロータリーに入会していた、というのは私を含めてよくあることなので、今後のうれしい展開を期待しています。

さて、先日行われた青少年部門セミナーには、川鍋委員長と新井委員長のご両名にご参加をいただきましてありがとうございました。また、長時間お疲れ様でした。その際、佐藤青少年部門委員長のご挨拶の中で「手前みそですが青少年部門は最もやりがいがある部門です」との言葉がありました。先週の例会で、終了後に田中 PDG、井原 PDG と3人でお茶を飲んだのですが、お二人とも米山は素晴らしい事業だ、私たちは本当に米山病だよ、と仰っていたのがとても印象に残っています。青少年でも米山でも、やりがいを感じながら、意義を感じながら事業に向き合うのは、より良い結果に結びつくために大事な事だと思います。そのためにはまず、その中身をよりよく知ることが大事だと思います。

今日はポリオデー事業の説明を行います。その8割以上は皆さんにポリオを知っていただくための内容です。ポリオとはなんなのか、なぜ支援が必要なのか。それを知らずして事業に参加しても、ただ「やらされている」としか思えず、奉仕の意欲も湧かないと思います。本日はぜひポリオについて深く理解していただき、当日「やりがい」を感じながら事業にご参加いただけたら幸いです。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

永井 伸剛 会員



お客様紹介、米山記念奨学生紹介

- オブザーバー / ブライダルサロン YCM marriage (ワイシーエム マリアージュ) 代表 水野 雅子様
- 2023 学年度 米山記念奨学生 金 亮希さん (ご紹介: 副会長 染谷 義一)



幹事報告



幹事 横溝 一樹

1. 地区より「ハイライト米山」が届いております。
2. 地区より秋田県豪雨災害支援金のお願いがございましたのでご協力お願いいたします。
3. 8月19日(土)に青少年部門セミナーが開催されました。また8月27日(月)には米山記念奨学部門セミナーが行われます。
4. 10月2日(月)に、地区大会記念ゴルフコンペが開催されます。参加のお申し込みは8月31日(木)までに幹事または事務局までお願いいたします。
5. 次週8月28日(月)はガバナー公式訪問準備例会、9月4日(月)第1例会はガバナー公式訪問となっておりますので、皆様のご出席をお願いいたします。
6. 8月7日(月)例会での高崎 RC 田中 PDG による卓話を動画で記録させていただきましたので、ご希望の方は事務局までご連絡下さい。なお、こちらの動画や資料の公開、再配布などはお控えいただけますようお願いいたします。
7. コロナがまた広まっているようですので改めて対策等お気をつけください。

お客様ご挨拶

- ブライダルサロン YCM marriage 代表 水野 雅子様



把手共行 ~分かち合おう、共にロータリーの感動を~

事務局:さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4階

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



委員長報告、派遣役員報告

■国際奉仕担当理事 吉田 浩士
国際奉仕部門の合同委員会を開催します。
8/31 (木) 18時からです。
よろしく願いいたします。



米山記念奨学金支給及び近況報告

米山カウンセラー・米山記念
奨学委員会 副委員長
福田 美香より奨学金支給
金 亮希さん 挨拶
就活が始まりました。皆さん、
アドバイスお願いします。



ロータリーの友解説

■広報委員会委員長 平野 友紀
横組

P.5 RI 会長メッセージ
今年の重要なテーマとして“メン
タルヘルスの取り組み”を挙げて
います。

P.8 生涯の友が見つかる場所へ ロ
ータリーで見つけた友情・出会い
の数々が紹介

P.22 よねやまだより
米山記念奨学事業の基礎知識
P.32 ロータリーアットワーク

第 2770 地区の川越、春日部 RC の記事、P34 の所
沢東 RC の事業 (家庭の未使用品を必要な方に)

縦組

P.4 語り合い次につなげる 福島 of 会津若松市の東
山温泉の再生事業に取り組んでいる深田社長の講演
P.16 友愛の広場 2770 地区の川越、桶川 RC の記事

※お知らせ

電子版ロータリーの友をご覧いただくためには、
IDとパスワードが必要です。
詳細は事務局までお問い合わせください。



誕生日祝い

榎本貞寿 (3日)、田口修身 (8日)、佐藤淳也
(11日)、土屋隆弘 (15日)、清水明仁 (18日)、
竹内雅人 (27日)、小林政良 (31日) 各会員

代表ご挨拶 田口修身会員
ロータリーでは誕生日を迎えたとお祝い
してもらえてうれしいです。



お見舞い

■緒方 学会員 ご挨拶
顔面複雑骨折し入院していました。
お見舞い、ありがとうございます。



出席報告

■出席委員会 委員長 新城 盛辛

スマイル報告

■副 S A A 胡 平



事業説明

会長 藤嶋 剛史

「世界ポリオデー in 大宮」
について



の感動を～

皆さんには、小さなお子さん
やお孫さんはいますか？
ポリオ (小児まひ) は 5 歳以
下の小さな子どもが感染しや
すい伝染病です。第 2770 地区
のロータリアンに、小さいこ
ろポリオに罹った人がいます。

2019-20 年度の小林操パストガバナーです。当時、
周囲には水道が普及していましたが、井戸水で不
自由がなかったため飲用し感染したそうです。「子
どもを罹患させてしまった」と嘆き苦しんだ母を見
て「世の中に子どもの病気で悲しむお母さんを作ら
ないように」と、自分自身と母の経験を踏まえ、地区
内全 74 クラブが 10 月 24 日の「世界ポリオデー」で
イベントを開催しました。

ポリオ (急性灰白髄炎) は、脊髄性小児まひとも呼
ばれる「伝染病」です。

ウイルスが主に排泄物のついた手、食事・水により
口から体内に侵入し、脊髄の灰白質が炎症を起し、
麻痺がおきます。麻痺を発症する者は 1,000 人に一
人 (200 人とも言われる) であり、その周囲には
1,000 倍 (200 倍) の感染者がいる能性があります。
手足に麻痺があらわれるため、腕や膝関節が通常と
かなり違う方向を向いてしまい、痛々しい姿になっ
ていることも少なくありません。

有効な治療法はなく、唯一の対策はワクチンでの予
防です。世界からポリオを根絶することは、1985 年
以来ロータリーの最優先事項であり GPEI (世界ポ
リオ根絶推進活動) 立ち上げの一員としてポリオの
症例を 99.9% 減らす貢献をしてきました。その結果、
2020 年 8 月のナイジェリアの根絶後、野生型ウイル
スによる発症は紛争や活動に障害の多いアフガニス
タン・パキスタンの 2 カ国のみとなりました。

ウイルスには、野生株ウイルス、ワクチン株ウイル
ス、ワクチン由来ウイルスがあり、ワクチンには、
経口生ポリオワクチン (病原性を弱めたウイルスが
入っている) と、不活化ポリオワクチン (ウイルス
を殺し、免疫に必要な成分のみ抽出したもの) があ
ります。不活化ワクチンはワクチン由来の発症者
は出ないためこちらが良いに決まっていますが、経
口が 21 円に対し不活化は 9,000 円と、開発途上国で
はとても接種できない値段となっています。野生株
は少ないですが、ワクチン由来の発症国は多く、日
本の外務省では渡航者に再接種を促しています。ポ
リオは 3,500 年前から存在しましたが、1900 年代に良
なって大流行し、皮肉にもその原因は衛生環境が良

なくなったことでした。乳幼児がウイルスとの遭遇で免疫を得る機会が減り小児期の後半以降に遅れ、麻痺性の感染が起こりやすくなり、1940年～50年代には世界中で毎年50万人以上に麻痺や死をもたらしました。

ロータリーは1978年、東京でのロータリー国際大会で、「最優先事項」として、世界の子どもたちに「ポリオのない世界を届ける」ことを約束しましたが、前年に歴史上初めて天然痘が根絶されたのもきっかけの一つでした。ポリオが根絶されれば、史上2番目に人類が根絶した疾病となります。その後RIがWHOにポリオ根絶を呼びかけましたたが理解を得られず、単独でワクチン接種を開始。1985年に全世界でポリオ根絶をめざす「ポリオプラス・プログラム」開始し、1988年、WHOでポリオ絶滅が決議されGPEIが立ち上げられました。

ウイルスがどの部位を侵したかで症状は異なり、脊髄が侵されると下肢が麻痺、上部よりウイルスが侵入すると上肢、横隔膜など呼吸筋が麻痺し、延髄が侵されると呼吸の中枢が麻痺します。

皆さんは「鉄の肺」(Iron Lung) 1928年～をご存じ

ですか？患者の首から下を気密タンクに入れ、圧力を下げて肺を広げ酸素を入れる、ポリオのために生まれた人類初の陰圧式の人口呼吸器です。この機械、入ってしまうと何もすることができません。



そんな「鉄の肺」に入れられた子どもたちが「楽しみ」にしていたことがあります。何だと思えますか？それは絵本です。しかし、裕福な家の子、家が遠い子は、看護師不足もあり、なかなか読んでもらえませんでした。そんな子たちの楽しみは何だったと思えますか？それは「思い出」です。病気になるまで、機械に入れられるまでは、他の子どもたちと楽しく遊ぶことができた。それを何度も何度も思い出すことが唯一の楽しみだったそうです。この上なく退屈で、痰など排泄物除去のため気道を切開され話もできず、汚物の処理を頼むことも出来なかった。表情だけでコミュニケーションを図ったが、友達ができるたびにその子は死んだ、と言います。鉄の肺が開発されるまでポリオの死亡率は30%を超えていました(延髄ポリオに至っては死亡率90%)。しかし鉄の肺に入った患者も80%が死亡したそうです。現在の陽圧式人工呼吸器の登場により、死亡リスクは大幅に減少し、また、ポリオ患者の身体的自由も飛躍的に向上しました。しかし、世界には設備・物資や知識の不足により、「あなたは他の子と遊んではいけません」と、障害を持つ子が遊んだり、学んだりする機会が妨げられる地域が存在します。

ポリオ根絶まで「あと少し」。人類が世界から根絶したのは天然痘1つだけで、病気を地球からなくするのは難しい。あと0.1%、しかしそれを0%にするのがとても難しい。なぜなら、ポリオは「単なる医療課題」ではないからです。武装勢力等による妨害でワクチン接種に従事する人々を殺害する妨害活動もありました。「米国によるスパイ活動」、「イスラム教徒を不妊にする陰謀」等の主張、宗教指導

者が不妊の原因になっていると言いついに子供にワクチンを接種させない親がいたこともありましたが。そんな中、ナイジェリアでは国際的な協力と理解が進み、近年ついに根絶が実現しました。しかし、アフガニスタンやパキスタンに生まれた子どもたち、経口生ワクチンしか接種できない開発途上国に生まれた子どもたちは、今もポリオによって小さな身体にまひを発症し、友だちと楽しく遊ぶはずの時間や、将来の夢を奪われ、今後何十年にもわたり障害に苦しまなければならないかもしれません。それでもなぜ今も支援が必要なのか。ワクチンは発症国のみに必要なのではなく、毎年全ての国の新生児に必要です。(日本でもワクチン接種費用は毎年100億円を政府が支出)多くの開発途上国はワクチンの資金もなく、医療機関や接種を行う人材も揃っていません。それらの国へ毎年4億人の子どものワクチン購入や、輸送費、接種する人たちへの支援、ウイルス検知の監視活動などに資金が充てられます。世界では新生児増加で今はワクチン接種の資金が最も必要です。発症者が少ないからといってこの活動をやめてしまえば、今後10年間に毎年20万人の子どもが身体まひになると言われます。2022-2026の新しいポリオ根絶戦略が進められています。

当クラブでも全体事業(例会)として、10/21(土)に世界ポリオデーin大宮を開催します。

①1個で子ども7人のワクチンとなる「End polio ポップコーン」販売

②米山学友・米山奨学生の母国料理の屋台「アジア屋台フェア」

③販売時にポリオ根絶パンフレット配布

④ポリオ根絶動画作成(米山学友)、プロジェクトマップでパレスホテルの壁面に投影。動画のエンディング部分に協賛広告を投影、協賛金を募集

⑤ソニックシティビルをポリオカラー赤色でライトアップ

⑥西口ペDESTリアンデッキにのぼり旗を立てPRおよび募金

※売上および協賛広告料はすべてポリオへの寄付金とします。

なお「米山学友会との共催」を行い、事業にインパクトを与え、地区米山奨学生の協力を得て、販売・募金の効果や集客力のアップ、ロータリーへの理解や奉仕精神の萌芽、メンバーの米山に対する理解促進につなげます。

最後に。単なる医療課題ではないポリオの根絶には、

かつてのナイジェリアのように国際的な協力や理解、すなわちロータリーの目的にある、国際理解・親善・平和の推進が必要です。しかしそれは、現実的に私たちがいまどうにか出来ることではないかもしれません。いま私たちに出来ること、それはこの活動を一人でも多くの人に知らせること、そして一人でも多くの子どもたちにワクチンを届けることではないでしょうか。子どもたちに、「ポリオのない」世界を。その実現には、皆さんの力が必要です。

